

# 子育て・福祉に冷たい愛西市

# 愛西市民報

## 新庁舎統合関連事業に60億円つぎこむ

### 困ります！

新庁舎整備で  
福祉・くらしが犠牲



### 街の声

庁舎は立派になっても、中身は良くなる。新庁舎の前にやることがあるとおもう。福祉、教育が削られることでは困る。  
(北一色町 男性)

これから4年間で  
保育料15%上げる

「保育料が安い」ことをあげ、中学校卒業までの子供の医療費助成を拒否してきた愛西市が、平成30年までに段階的に15%もの値上げ提案をし、共産党の反対を押し切って可決されました。

子育て世帯には、大きな負担となります。今年度は、一部多子世帯は、階層が上がり、保育料が倍になりました。値上げは合計で約3000万円です。

少子化対策に重点的に取り組むときに逆行しています。



|           | 第2階層   | 第3階層          | 第4階層      | 第5階層        | 第8階層        |             |
|-----------|--------|---------------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| モデル年収4人家族 | ~260万円 | ~330万円        | ~470万円    | ~640万円      | 1130万円以上    |             |
| 3歳未満児     | 27年度   | 0             | 6,200     | 12,700      | 17,800      | 31,000      |
|           | 値上幅    | 1,900   1900% | 800   13% | 1,700   13% | 2,500   14% | 6,700   22% |
|           | 30年度   | 1,900         | 7,000     | 14,400      | 20,300      | 37,700      |
| 3歳以上児     | 27年度   | 0             | 4,600     | 11,500      | 15,500      | 18,400      |
|           | 値上幅    | 1,300   1300% | 600   13% | 1,500   13% | 2,100   14% | 3,600   20% |
|           | 30年度   | 1,300         | 5,200     | 13,000      | 17,600      | 22,000      |

子ども医療費無料化条例  
共産党以外の反対で  
否決

日本共産党議員団は、議案提案権を行使し「愛西市子どもの医療費支給条例等の一部改正する条例」を提案しましたが、共産党3人のみの賛成で否決されました。必要な予算は6000万円です。

愛西市の人口の14%の署名に応えよ

少子化対策、子育て支援策は、なんでも事業を行っていく時です。12月議会に「子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡大を求める請願」では人口の14%の署名が提出されましたが不採択となっています。

## 年金は減るのに 介護保険料が5400円(基準額)の値上げ！！

愛西市の第6次介護保険料は、基準額で年間5400円の値上げ。第五段階までは非課税の人からも保険料を徴収。所得の低い方は負担が重く暮らしていけません。共産党は反対しました。



|      | 第1段階<br>0.45                       | 第2段階<br>0.60          | 第3段階<br>0.65 | 第4段階<br>0.85 | 第5段階<br>1.00 | 第6段階<br>1.20 | 第7段階<br>1.30           | 第8段階<br>1.50 | 第9段階<br>1.60           | 第10段階<br>1.75          | 第11段階<br>1.85 |
|------|------------------------------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|--------------|------------------------|------------------------|---------------|
|      | 世帯非課税                              |                       |              | 世帯課税・本人非課税   |              | 本人課税         |                        |              |                        |                        |               |
| 所得区分 | 年金収入等80万円以下、<br>高齢福祉年金・<br>生活保護受給者 | 年金収入等80万円<br>超120万円以下 | 年金収入等120万円超  | 年金収入等80万円以下  | 年金収入等80万円超   | 合計所得120万円未満  | 合計所得120万円以上<br>190万円未満 | 合計所得190万円以上  | 合計所得290万円以上<br>500万円未満 | 合計所得500万円以上<br>800万円未満 | 合計所得800万円以上   |
| 昨年月額 | 2,175円                             | 2,610円                | 2,828円       | 3,698円       | 4,350円       | 5,220円       | 5,438円                 | 6,525円       | 6,525円                 | 7,613円                 | 8,048円        |
| 今年月額 | 2,160円                             | 2,880円                | 3,120円       | 4,080円       | 4,800円       | 5,760円       | 6,240円                 | 7,200円       | 7,680円                 | 8,400円                 | 8,880円        |
| 差額   | -15円                               | 270円                  | 293円         | 383円         | 450円         | 540円         | 803円                   | 675円         | 1,155円                 | 788円                   | 833円          |
| 伸び率  | -0.7%                              | 10.3%                 | 10.3%        | 10.3%        | 10.3%        | 10.3%        | 14.8%                  | 10.3%        | 17.7%                  | 10.3%                  | 10.3%         |

3月市議会報告

愛西市3月定例議会は、平成27年度予算案、保育園の利用料の値上の条例、介護保険料の値上げの条例、地域創生事業のプレミアム商品券を行う補正予算など議案39本と議員提案の発議5本を議決しました。

社会保障費は減る

「消費税は社会保障に」は たてまえ

平成27年度予算は、新庁舎建設費が減り、総額213億1200万円となりました。消費税増税で増えた地方消費税交付金は約3億円。社会保障費にあてられています。が、社会保障費は前年対比削減です。財源を付け替えただけです。

平成27年度主な事業

○災害対策として、地域防災計画の見直し、防災マップの

作成。

○小中学校の屋内運動場非構造部材の耐震化。

○公共施設等総合管理計画策定のための委員会を設置。

○社会保障税番号制（マイナンバー制）の導入。

○小中学校適正規模等検討（統合の検討含む）のための委員会を設置。

○親水公園東ゾーンの整備設計委託。

○地域包括センターを八開に新設。

○敬老事業の敬老祝い金を減額。

○一人3000円の子育て世帯臨時特例給付金の支給。

どこまで削減する！ 教育関連費

平成26年度予算では、小学校のキャンプの補助金（一人5000円）や中学校の自然教室の補助金（一人5000円）を廃止。放課後子ども教室をやめました。

平成27年度予算では、小学校の卒業生への記念品を削減しました。

トイレの洋式化や、エアコンの設置など、教育環境の整備は必要なのに、市は「選択と集中」の視点で企業誘致には3億円使うのに、教育関連費は削減ばかり。教育の充実の視点がなくあべこべです。



議会放映を機に

手話言語条例制定を



かとう敏彦 議員

加藤 6月議会から、ケーブルテレビを使った市議会の放送がされるが、聴覚障害者の方のための字幕放送や手話通訳が必要である。手話言語条例を制定してはどうか。

期日前投票所の増設を

加藤 佐織地区では、期日前投票所設置の要望が根強くある。統合庁舎の整備も踏まえ、総合的に検討していく必要があるとの答弁だったが、その後検討は。

市長 平成26年度の時点で聴覚障害者は168名いる。最低限の生活が送れるよう支援する。手話への理解の促進を図り、安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、条例制定は一つの手段。

「災害時要支援者名簿」登録や活用方法を改



まの和久 議員

真野 高齢者や障害者など、災害時に自力で避難がしづらい方に登録してもらい支援していく「要支援者名簿」は、地域で活用しやすく改善を。

所に福祉避難ブースをつくるにはどうか。

部長 特別な配慮が必要であり、平常時から受け入れる体制を備えておく必要がある。

部長 班ごとの支援者登録や自主防災会の協力での昼間独居高齢者の登録など改善を進めたい。

地区行事の地元運営 時間をかけて移行する

「福祉避難ブース」設置 平常時から準備が必要

真野 災害時、福祉避難所の体制が整うまで、一般の避難

真野 愛西市は、平成28年度から、納涼まつりや体育大会への職員派遣などを行わないとしているが、地区行事は、地域住民のコミュニケーションを図り、市の掲げるまちづ

くりのためにも大切な行事だ。継続できるように丁寧なサポートを。

部長 一切手を引くのではなく、時間がかかっても移行できよう方向づけする。

防災コミュニティセンター

なぜつくらない？



河合かつべい 議員

河合 防災コミュニティセンター整備計画の今後の方針は。

部長 「公共施設等総合管理計画」で既存施設の使用目的の変更や長寿命化を図るとし、再検討する。

河合 柚木、日置、内佐屋の佐屋北地区について、公民館などに備蓄をし、防災拠点として運用しては。

部長 民間提携避難所には、要望があれば備蓄するが、公民館等には難しい。

河合 今できることを率先して進めるべきだ。

佐屋駅前駐車場撤去の予定

河合 佐屋駅前広場の今後と進捗について確認する。

部長 平成27度中に駅前広場の駐車場を無くすと名鉄が言っている。

6月議会から、ケーブルテレビで放映！！

市議会の一般質問（6月5日、8日）が、後日録画で放映されます。

日比野駅、オオクワ北踏切の歩行者の安全確保を

河合 日比野駅、オオクワ北踏切、その東側には歩道がないとして、安全確保されるよう整備を。

部長 今後名鉄と協議

をすすめる、別の方法も検討する。

佐屋プールの代わりに

小学校のプールを開放

河合 佐屋プールの今後と、親水公園多目的グラウンドの整備は。

部長 佐屋プールについては閉鎖し、小学校のプールの開放を考えている。グラウンドは、調整池の役割がある。今後は不具合あれば整備を行う。